



## 10,000個を超える星が降り注ぐ空間

市立中央図書館の4階に、市教育センターのプラネタリウムがあるのをご存じでしょうか。2007年7月、当時の常設プラネタリウム館としては全国初となる、デジタル立体プラネタリウムを導入。限りなく本物に近い星空の再現を目指し、一般公募により「海老名スタードーム」と名称を変え、リニューアルオープンしました。

### 美しい星空を、ゆったり鑑賞

扇形に配列された座席は、80席あり、直径11メートルのドーム型スクリーンに映し出される美しい星空を、ゆったりと鑑賞することができます。

### 複数の映像を同時に上映

デジタル立体プラネタリウムの一番の特徴は、複数のプロジェクターから同時にデジタル映像を映し出すことができるという点です。普段、私たちが地球上から見ている宇宙だけでなく、月や火星などから見た宇宙など、視点を移動させた同時投影が可能になりました。

## リアルな星粒と、立体映像による壮大な宇宙旅行

デジタル方式で映し出される映像は、天の川の星粒までもリアルに表現され、まるで宇宙船に乗って宇宙旅行をしているような感覚を体験できます。3Dの番組の投影では、専用の3Dメガネを装着することにより、立体的に浮き上がった星粒に、思わず手を伸ばしてしまう人も多いそうです。

また、天体衝突のような迫力のあつ音から静かなメロデーまで、映像と調和した臨場感あふれる音楽も同時に楽しめます。

番組は「春」「夏」「秋」「冬」と

季節ごとに変え、それぞれの星座解説と、専用の3Dメガネを装着して見る物語の2部構成で投影。8月からは、夢のタイムマシンに乗って物語が進行する新番組「タイムトリッパー」を投影する予定です。

「海老名スタードーム」では、年間を通して市内の児童・生徒が星座や宇宙について楽しく学んでいるほか、一般の方向けにも投影を行っています。満点の星空に包まれて、感動と癒しのひとときを過ごしてみたいかがでしょうか。



▲コンピューターグラフィックスのキャラクターがナビゲーターとして登場します



▲立体映像を見る際に使う3Dメガネ



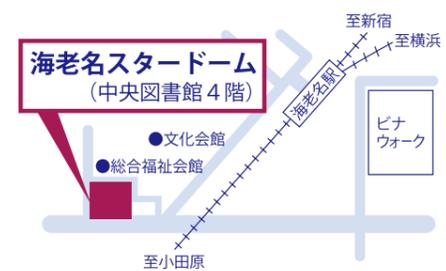
待合所には専門の本やスペースシャトル打ち上げの資料などが展示されている



**新番組** 8月の投影スケジュール  
**「タイムトリッパー／秋の星空」**

日にち：8月15日(月)～21日(日)  
 時間：15時～、16時～  
 定員：各回80人

※投影時間は約30分、入場無料、投影開始30分前から受け付けます



**【海老名スタードーム問い合わせ先】**  
 市教育センター（市役所5階）  
 ☎(233)7771